

※ 以下の欄には記入しないでください

事務受付	:	年	月	日	管理費	備考
運営会議承認	:	年	月	日		
本部会議報告	:	年	月	日	スペース 他	

研究内容 ※最終頁にある KGRI 研究活動評価基準に沿って研究内容をご記入ください。

Keio spirits
●●研では、世界に先駆け●●型●●(●型●●)、●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●、●●●●●●●●●●を提案しその基本特許を取得している。●型●●は、情報通信分野で最も権威ある国際標準会議である IEC で、日本の単独提案及び日米仏三国の共同提案により、規格制定(●●●●●●●●●●)されており、日本が主役となって世界展開できる基盤が整っている。また、●●●●●●●●●●は、現行の●●●●●●●●●●では難しい●●●●●が可能となり、さらに、以下に述べるように●●●●●●●●●●のみならず、近年●●研から提案している●●●●●●●●●●及び●●●●●●●●●●は、これからの液晶ディスプレイだけでなく、今後の OLED のリアルカラー課題に大きな貢献をもたらすものと期待される。これらは慶應義塾の「実学の精神」に基づいた研究姿勢から生まれたものである。
Global and multidisciplinary approach
8K, 5G の到来により、極めて高品位、低雑音の信号を送る必要性が出てきており、近年我々が学会で提案、強調している●●●な●●●●●●●●●●という新しい原理に基づく●●●●●●●型●●●が国内外で非常に注目されている。ディスプレイの提案においても、我々が提案している新規フィルムは OLED などこれからの次世代ディスプレイに向けて新たな潮流を生み出すものであり、日本の材料メーカーのみならず、世界を牽引する IT 企業、大学等機関から注目されており、すでに有力企業との共同研究も進めている。
Research outcome
慶應義塾から生まれた●●●●●●●●●●は長い歴史を辿ってきたが、ここへきて、今までの●●●●●●●●●●の延長ではない新しい原理と機能を持った●●●●●●●●●●が生まれ、また生まれようとしている。8K, 5G 時代に向けて新たな●●●●●●●●●●研究の潮流が押し寄せている。本プロジェクトでは、これらの成果を製品化・量産化するプロセスを構築し、社会還元につなげることを目標としている。
Initiatives
●●●●●●●●●●●●●●(●型●●)の提案後、欧米、日本で●●●●●●●●●●●●●●●について の研究報告が急増し、●●●●●●●●●●●●●●●●(●●国際会議) が世界各国で開催されるようになった。その議長は毎年、研究代表者が務めている。●●●●●●●●●●に関わる●●の研究発表の多くに、研究代表者の論文が引用され、そのオリジナリティーが国際的に高く評価されている。国際会議での招待講演・基調講演は●●件を超え、●●の成果に対する期待は年々高まっている。

KGRI ウェブサイトへの プロジェクト情報掲載 ☐ 可 ☐ 不可 * 可の場合、ウェブサイト掲載用のプロジェクト情報を記入して下さい。(別紙による提出可)	(日本語で 200 字程度／English 500Word) * 記入時の文字サイズは小さくても問題ございません。 <日本語> 8K, 5G 技術の目覚ましい展開に伴い、従来の性能をはるかに上回る高速伝送、高精細ディスプレイ等の開発が急務となっている。本プロジェクトは、慶應義塾から生まれた●●●●●●●●●●●●●●●●(●型●●)、超高精細ディスプレイのための●●●●●●●●●●●●●●技術を、産学連携で 8K, 5G の世の中に普及させ、新たな未来を創造することを目的としている。 <英語> Along with the rapid growth 8K/5G technologies, development that would surpass by far the conventional technologies such as high-speed data transmission and high-definition displays, etc. is an urgent need. We are aiming to create a new future by ●●●●●●●●●●●●●●technologies for the High Speed ●●●●●●●●●● (●●●●) and the Ultra High Definition Display that were born in Keio University by collaborating with the industry.
添 付 書 類	☐ 研究計画書 ☐ 契約書 ☐ その他()

研究集会の計画（本研究プロジェクト主催のシンポジウム・研究プラットフォーム等）		
開催年月	内 容	公開・非公開
20XX 年 X 月	シンポジウム「●●●●●●●●●●」開催（詳細未定）	公開
20XX 年 X 月	●●を訪問し、研究セミナーを実施（予定）	非公開
20XX 年 X 月	大学、●●メーカー、○○メーカー、△△メーカーなどが結集し、●●の研究開発ならびに普及促進を行う●●コンソーシアム（研究代表者が●●を務める）による講演会・セミナーを実施（予定）	非公開
20XX 年 X 月	●●●●国際会議出席（オンライン予定）	非公開
20XX 年 X 月 予定	シンポジウム「●●●●●●●●●●」 ※研究成果の発表を●●で開催（社会情勢により中止の可能性あり）	未定

研究成果（予定）／研究成果（実績）		
年月 （発行・発表）	学術論文，学会発表，Working Paper，出版物等の計画等	備 考
20XX 年 X 月	研究代表者（●●）による●●大会（●●）での招待講演 （COVID-19 の影響により中止、予稿集の公開あり、発表実績認定）	
20XX 年 X 月	●●「●●●●●●●●●●」の事後評価公開（関連新聞記事●件）	
20XX 年 X 月	大学院生による学会発表（●●20XX（サンフランシスコ）） ●件（ウェブ会議）	
20XX 年 X 月	研究代表者（●●）による●●20XX（リスボン）での基調講演 （COVID-19 の影響により 20XX 年へ延期）	
20XX 年 X 月	研究代表者（●●）による●●に関する学術論文投稿	

他機関との交流・連携（機関名・交流・連携の内容）・その他
●●氏の主宰する●●●●と連携してプログラムを行うとともに、サンフランシスコの●●●●や●●機関と共同でセミナーを実施するほか、年 1 回の国際会議をはじめ、定期的に情報交換を行っている。

備考（研究スペース・設備・装置等の希望がある場合には記入してください）

※ 欄が足りない場合は、増やして記入してください。

研究プロジェクトメンバー一覧

[illegible]

※ 職位付与を希望する場合は、希望する職位を「備考」欄に記入のうえ、「所員受入申請書」を提出してください。

※ 記入欄が不足している場合には、本紙をコピーし、2枚目以降にご記入ください。

【利益相反マネジメント体制】

- ・プロジェクト設置にあたり、利益相反マネジメントの観点から、プロジェクトの活動における利益相反について自己申告をお願いいたします。KGRI 運営会議にてプロジェクト設置可否と併せて審議されます。
- ・プロジェクトの研究代表者はじめ、兼担所員個人の利益相反マネジメントについては、本務先の運用に従ってください。
- ・KGRI で任用される特任教員・研究員の利益相反マネジメントについては任用時に人事審議と併せて審議いたします。

本プロジェクトの活動にあたり、義塾外の団体等から何らかの便益を供与されている場合、もしくは供与が想定される場合等、ご自身の判断で利益相反状態にあると思われる事項について記載ください。

※国や独立行政法人から配分される競争的研究費の獲得は記載の対象外です。

☐ ①自己申告すべき利益相反状態は存在しない。

☐ ②自己申告すべき利益相反状態が存在する。

↑いずれかを■としてください。②の場合は以下にその内容の記載をお願いします。

記入例)

- ・プロジェクトの活動資金源を提供いただいている〇〇（企業名・団体名等）の役員となっている/〇〇の名目で報酬を受け取っている。
- ・プロジェクトの活動と〇〇の関係がある〇〇（企業名・団体名等）からコンサルティング料を受け取っている。

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) への取り組み

17 の SDGs のうち、各プロジェクトがどの目標に合致した活動をしているかを Web サイトにアイコンで表示いたします。参考サイトをご覧ください、目標の右の取り組み欄に●印を入力してください。複数選択可能です。参考サイト⇒ <http://ungcin.org/sdgs/index.html>

目標	取り組む
目標 1 貧困をなくそう	
目標 2 飢餓をゼロに	
目標 3 すべての人々に保健と福祉を	
目標 4 質の高い教育をみんなに	●
目標 5 ジェンダー平等を実現しよう	
目標 6 安全な水とトイレを世界中に	
目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	●
目標 8 働きがいも経済成長も	●
目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	●
目標10 人や国の不平等をなくそう	
目標11 住み続けられるまちづくりを	●
目標12 つくる責任つかう責任	
目標13 気候変動に具体的な対策を	
目標14 海の豊かさを守ろう	
目標15 陸の豊かさを守ろう	
目標16 平和と公正をすべての人に	
目標17 パートナースhipで目標を達成しよう	

202X 年度 KGRI 研究活動評価基準

1. 内部資金にかかるプロジェクト（基軸プロジェクトなど）

評価項目	評価内容
Keio spirits	慶應義塾の理念・精神に合致する研究活動であるか。
Global and multidisciplinary approach	世界に開かれたグローバルな研究活動であり、かつ学際的アプローチが採られているか。
Research outcome	以下の4項目にかかる明確なアウトカム目標があるか、そのアウトカム目標を十分に達成したか。 1) <i>KGRI mission</i> への貢献 ー持続可能な開発目標（国連 SDGs）に対する取り組み ー次代を担う研究者の育成 2) <i>KGRI reputation</i> への貢献 ープレスリリースや国際会議開催、新たな人間交流 3) <i>KGRI publication</i> への貢献 ー国際的文献データベース※に収載される文献 4) <i>KGRI globalization</i> への貢献 ー国際共同研究や外国人研究者・学生の参画
Initiatives	先導性のある研究活動であるか。

※Elsevier 社 Scopus など

2. 外部資金にかかるプロジェクト（共同研究・受託研究など）

評価項目	評価内容
Keio spirits	慶應義塾の理念・精神に合致する研究活動であるか。
Global and multidisciplinary approach	世界に開かれたグローバルな研究活動であり、かつ学際的アプローチが採られているか。
Research outcome	研究活動に明確なアウトカム目標があるか、そのアウトカム目標を十分に達成したか。
Initiatives	先導性のある研究活動であるか。

3. 付帯事項（内部資金・外部資金共通）

所長が必要と認めた場合は有識者による外部審査を実施する。

研究プロジェクトメンバー一覧（抜粋記入例）

フリガナ 氏 名	所 属 ・ 職 名	プロジェクト／ 研究課題におけるテーマ・役割	備 考 (職位付与他)
ケイオウ タロウ 慶應 太郎	●●学部教授	研究代表者、研究活動統括	上席所員

フリガナ 氏 名	所 属 ・ 職 名	プロジェクト／ 研究課題におけるテーマ・役割	備 考 (職位付与他)
ケイオウ イチロウ 慶應 一郎	●●学部准教授	専門分野(●●●●●)の視点から、 産学連携・成果の社会還元企画・ 実行	所員

説明：KGRI での身分
「所員」と「上席所員」がある。
教授および教授相当の場合「上席」

フリガナ 氏 名	所 属 ・ 職 名	プロジェクト／ 研究課題におけるテーマ・役割	備 考 (職位付与他)
ケイオウ ジロウ 慶應 二郎	●●大学理事	●●●●の研究推進および産学連携	上席客員所員

フリガナ 氏 名	所 属 ・ 職 名	プロジェクト／ 研究課題におけるテーマ・役割	備 考 (職位付与他)
ケイオウ ハナコ 慶應 花子	〇〇〇〇株式会社研究員	「●●●●の研究」の推進	客員所員

慶應義塾所属以外：客員
教授および教授相当の場合「上席」
*人事審査有り・所員受入申請書作
成・履歴書・業績が必要)

フリガナ 氏 名	所 属 ・ 職 名	プロジェクト／ 研究課題におけるテーマ・役割	備 考 (職位付与他)
ケイオウ サブロウ 慶應 三郎	△△△△株式会社 ●●部 部長	「●●●●の研究」の推進	PJ メンバー

研究プロジェクトメンバーの
場合「PJ メンバー」
*人事審査無し・書類不要